

北村山高校生 Presents

尾花沢を元気にします

# きた★スタ!



北村山高校では3月1日に卒業式がありました。これからも先輩方がそれぞれの道で活躍してくれることを期待しています

vol.52

編集委員の皆さん



左から 佐藤芽華 阿部珠羅 岸 拓海



北村山高校では、3月1日に卒業式がありました。

新型コロナウイルスの感染防止を徹底するため、在校生の出席は代表の生徒会長のみとし、保護者の方々の入場にも人数制限を設けるなど、例年とは違う形での卒業式となりました。

卒業を迎える先輩方の進路はさまざま、大学や専門学校への進学、地元や県内外への就職など、多岐に渡ります。先輩方がそれぞれの進路先でまた大いに活躍してくれることを期待しています。

これまで先輩方は、学校生活のあらゆる場面で常に私たちの先頭に立ち、目標に向かって努力することの大切さや仲間とともに協力することの大切さなどを教えてくださいました。ひたむきに努力を重ねるその姿は、私たちが憧れる最も身近な目標でした。

これからの学校生活をどう頑張っていくか、先輩方の背中を追いつつ、私たちが在校生も学業や部活など、それぞれの目標に向かって励んでいきたいと思えます。

そして、北村山高校の生徒全員で、先輩方が築き上げてきたこの北村山高校をより一層良い学校にしていきたいと思えます。

## ユウゴ列伝

### OBANAZAWA ACTIVE FIELD 「尾花沢をアクティブな場所に！」



Instagramで情報配信中

市内在住のメンバー3人が「OBANAZAWA ACTIVE FIELD (オバナザワアクティブフィールド)」を設立した。四季の自然体験イベントを通じて尾花沢の魅力発信する活動をしており、これから雪遊びは楽しいと教えてもらった。今度は自分たちが雪や自然の遊び方を伝えたい」と情熱を燃やす。

春には植物が芽吹く山をバギーで駆けあがって山菜取り。夏には、スイカ作り体験会で、つる引き作業の大切さと面白さを体験し、スイカのみずみずしさを味わってもらいたい。秋は落ち葉のじゅうたんを進む紅葉バギークルーズを企画している。

去る3月27日には「雪あそびナンバーワン」を目指し、サンビレッジ徳良湖オートキャンプ場で、「雪中・満月キャンプ・スノー・スノー」を開催した。スノーバギー・スノーモービル、それから長靴で気軽に楽しめる雪板の体験、たき火、BBQ、雪中デイキャンプと、今シーズン最後の雪遊びを満喫した。

除雪は重労働だが、雪の可能性はたくさんある。心に遊びを持ち「雪遊び最高！」に変えて、雪の力で市外からも人が集まってほしいと考えている。

子ども達に雪は楽しい文化だと感じてもらうように試行錯誤し、「10年後、20年後には雪がプラスイメージの強いまちになったらいいね」とどメンバー3人で、今後の展望を楽しく、時に熱く語り合っている。



▲たき火を囲みながらの交流会



▲プロによるBBQフルコース料理(\*'▽'\*)  
サーモンの新たな魅力発見



▲子どもたちが参加した「雪板」の体験  
集中している顔って素敵ですね～

## 首都圏だより

Letter from Metropolitan Area

おとし、高校の先輩に強引に(?)誘われ首都圏尾花沢会に入会しました。

私は最初の1年間だけでしたが尾花沢高校で教員生活スタートさせました。

(その時の経験が貴重な財産になりました。)その後

東京の私立高校で2年、都立高校で38年勤務しました。現在は2つの大学に出講しています。都立高校では両親ともに尾花沢出身の生徒1人と出会い、父方、母方のどちらかが尾花沢出身の生徒とは10人以上出会いました。また夏休みに帰省した折、当時教えていた生徒から連絡があり、尾花沢のじいちゃん、ばあちゃんの家遊びに来ているので先生も来ませんか誘われ、お邪魔したところ大変な歓待を受けたことなども懐かしく思い出されます。



首都圏尾花沢会  
柿崎 廣幸 さん  
(東京都あきる野市)

さてやはりコロナ禍のことです。私も自粛して昨年丸1年帰省を控えています。実家は現在空き家です。コロナ以前は月1回ペースで帰っていました。家の管理、特に今年は大雪の事で悩みました。しかし親せき、友人、近隣の皆さんに助けられ何とか乗り越えることができました。頼れる郷里です。

空き家の件では市の方でも悩みの種でしょうが、私も当事者として管理等にはしっかりと取り組んでいくつもりです。

コロナが克服され、心配なく帰省できることを首都圏在住の尾花沢の仲間と共に待ち望んでいます。

春爛漫の候、心も華やぐ季節となりました。

入園や入学などで新生活を始める方や、転勤や異動により、心機一転仕事に励まれる方も多くいらっしゃることと思います。



市長コラム

本市では、まちづくりの新たな指針となる「第7次尾花沢市総合振興計画」が始まる年になります。これまで目指してきた「元気な尾花沢」をさらに前進させながら、一人ひとりが幸せを実感できるよう、そして市民の皆様には「このまちに住んで良かった」、市外の方には「あのまちで暮らしてみたい」と思ってもらえるまちづくりを、市民の皆様と力を合わせて取り組んでまいります。

さて、今年で徳良湖は築堤100周年を迎えます。多くの先人たちの努力によって造り上げられた徳良湖は、灌漑用水にとどまらず、訪れる人々を癒す憩いの場所として、現在も市内外の皆様から愛されています。市民の皆さんと一緒に100周年をお祝いすべく、徳良湖一周花笠踊りや本県ゆかりの歌手による野外ステージ(コンサート)等の記念行事を企画していきます。開催にあたっては、安心してご参加いただけるよう、新型コロナウイルス感染症対策をしっかりと講じてまいります。

また、野外ステージ当日は、多くの皆様楽しんでいただけるよう、ラジオ番組で放送する予定です。市民の憩いの場である「徳良湖」の築堤100周年を皆さんと一緒に祝いましょう。

尾花沢市長 菅根 元雄